

キッズ・モニターアンケートの概要 「食の安全・安心について」

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

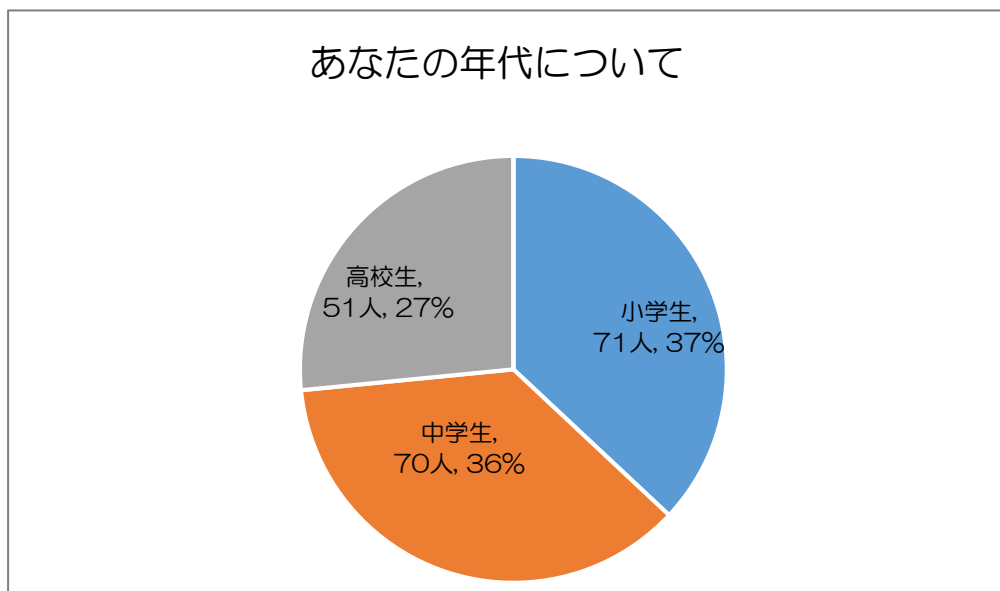
1. 実施期間 令和4年10月7日（金）～令和4年10月24日（月）
2. 回答者数 192人
3. 回答率 34.4%（192人／558人）
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 農林水産部農産物安全・流通課

アンケート結果概要

Q1 あなたの年代はどれですか。

【単一回答】

今回答えていただいた方の年代は、下のグラフのようになりました。

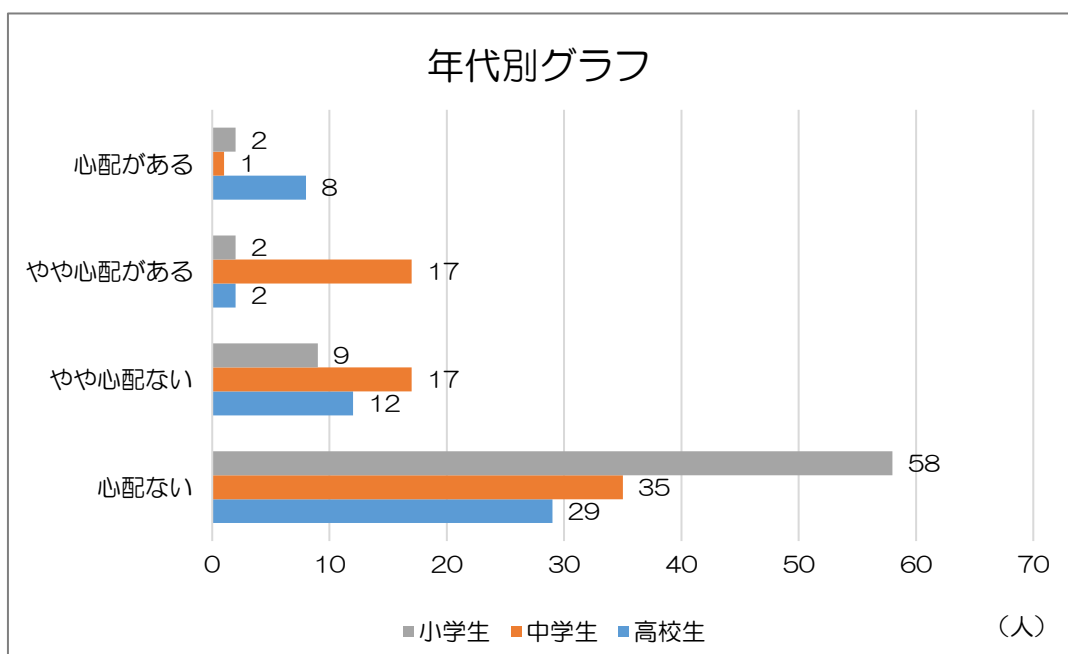
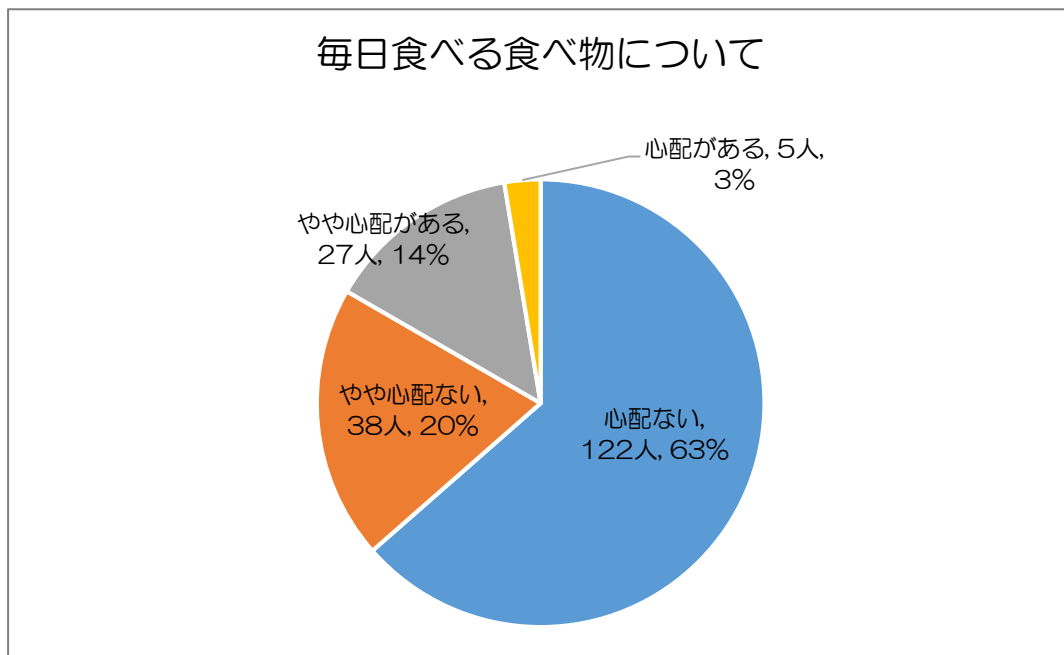


Q2 毎日食べる食べ物に心配はありますか。

【単一回答】

毎日食べる食べ物に対して「心配ない」と回答した人が63%と最も多く、「やや心配ない」と回答した人を合わせると83%となりました。一方で、17%の人が「心配がある」「やや心配がある」と回答しています。

年代別で見ると、「心配ない」の回答が多かったのは小学生で、「やや心配ない」、「やや心配がある」の回答が多かったのは中学生で、「心配がある」の回答が多かったのは高校生でした。年齢が上がるにつれ、食べ物への心配があることがわかりました。

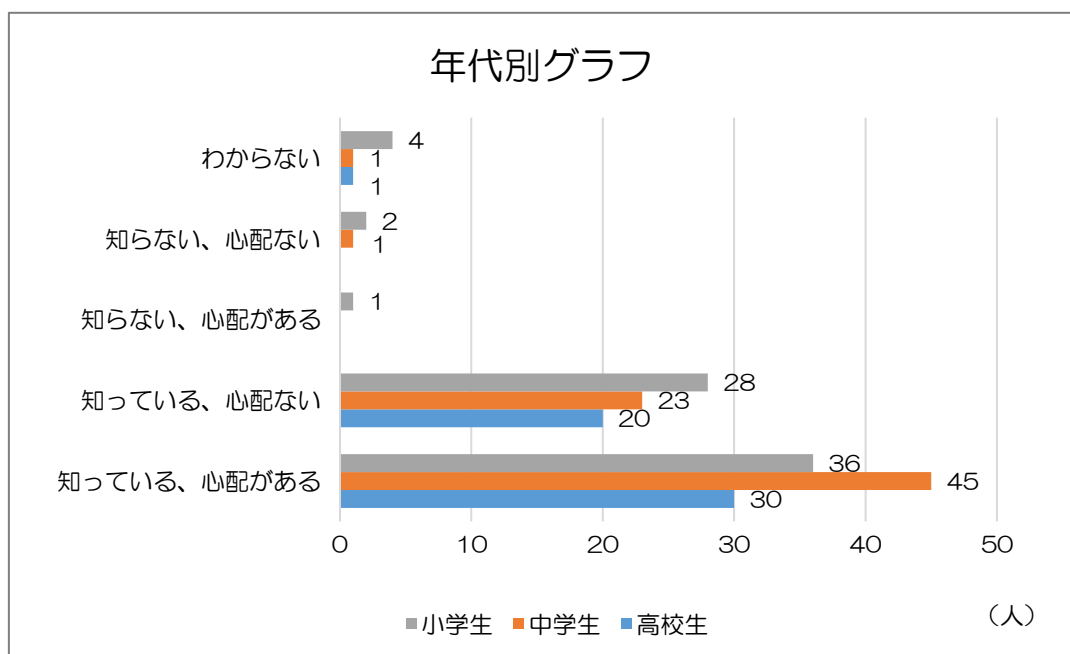
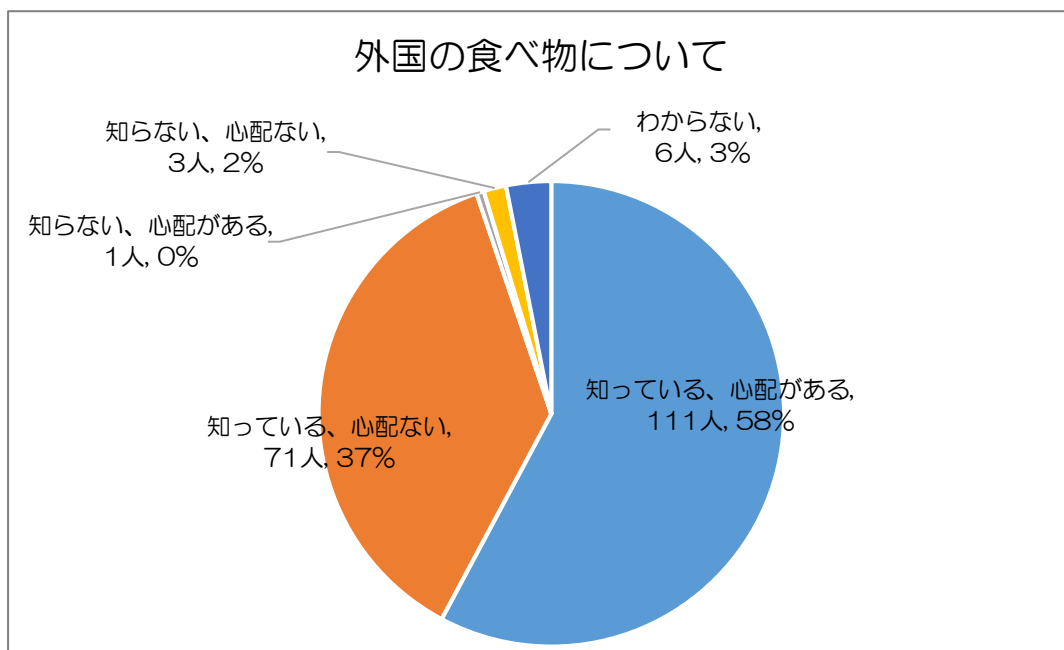


Q3 外国から食べ物を輸入(ゆにゅう)していることを知っていますか。
また、その外国の食べ物は心配ですか。

【単一回答】

外国から食べ物を輸入していることを「知っている」と回答した人が95%と、ほとんどの人が外国から食べ物が輸入されていることを理解しています。また、外国の食べ物について、「心配がある」と回答した人は58%と、「心配ない」と回答した人の39%を上回りました。

このことから、食べ物の安全性の基準は、輸入したのも国産のものもまったく同じであることを、より一層周知すべきであるとわかりました。

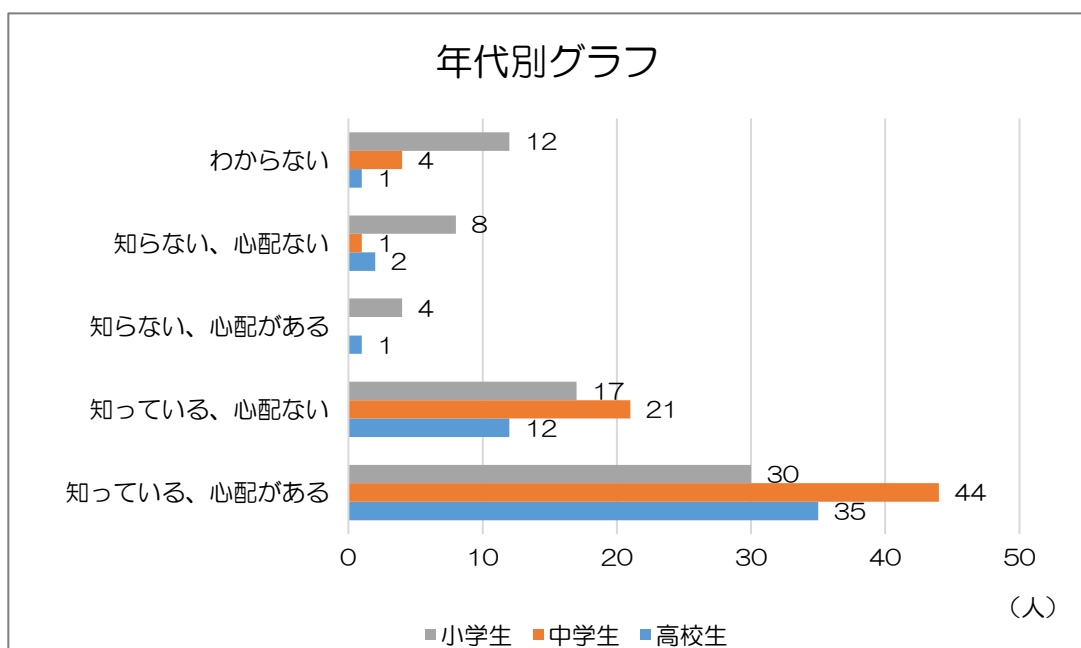
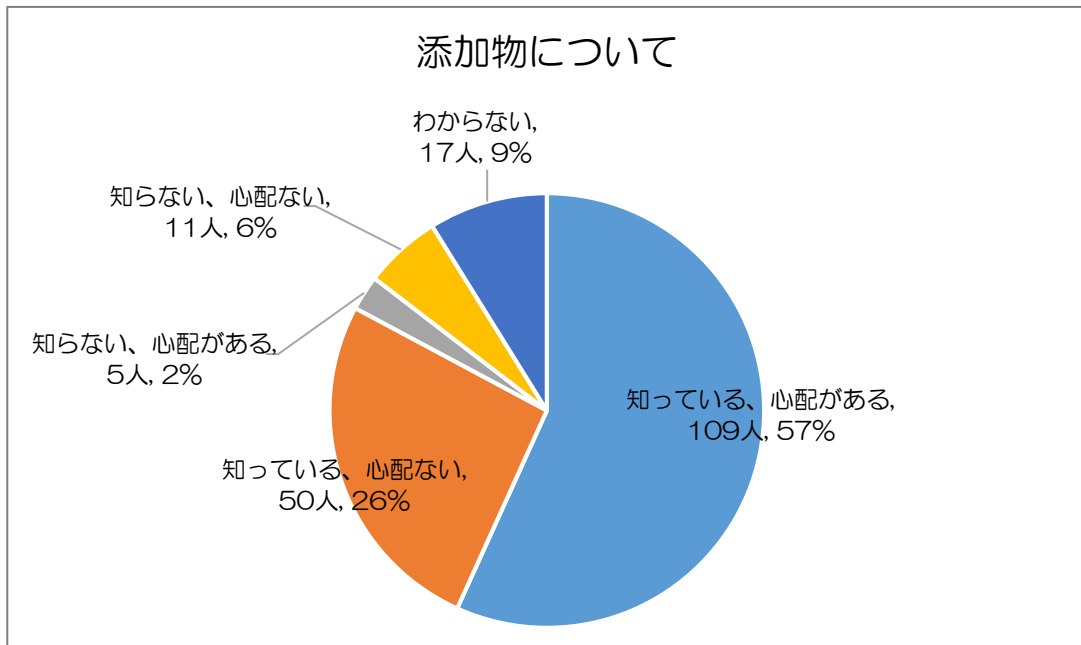


Q4 食べ物を長持ちさせたり、色や香りをつけたりするために、添加物（てんかぶつ）を使っていることを知っていますか。
また、その添加物を使った食べ物は心配ですか。

【単一回答】

添加物を使っていることを「知っている」と回答した人が83%と、多くの方が添加物を使っていることを理解しています。また、添加物を使った食べ物について、「心配がある」と回答した人は59%と、「心配ない」と回答した人の32%を上回りました。

このことから、添加物を多く使いすぎると、健康に害をおよぼすことがあります。適量で使うと、菌やカビの発生を防ぎ、食べ物の安全を保つことができることを、より一層周知すべきであるとわかりました。

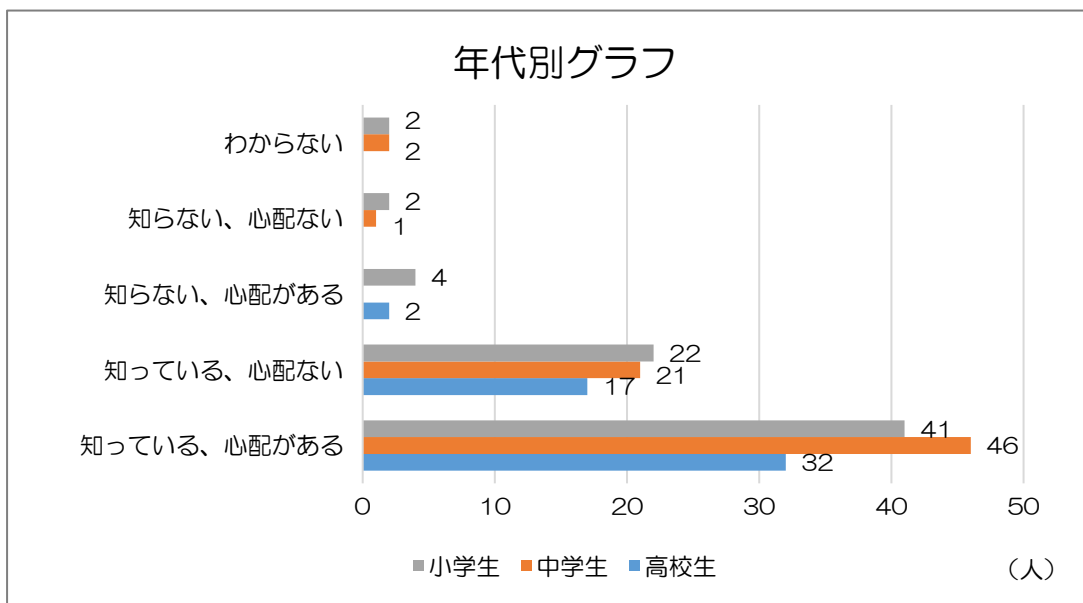
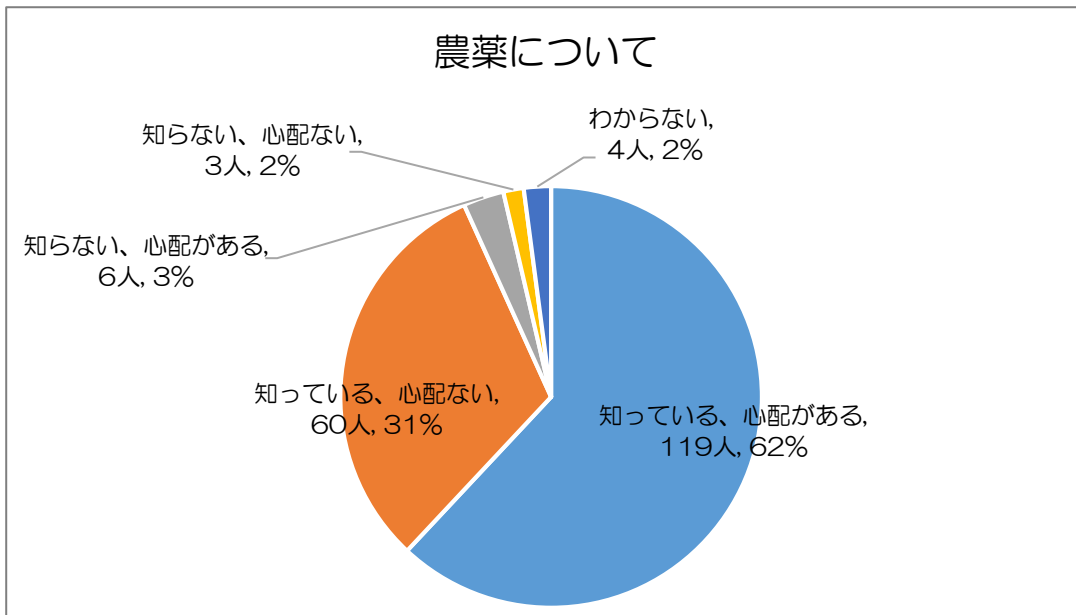


Q5 米や野菜をつくるとき、病気や虫から守るために、農薬（のうやく）を使うことを知っていますか。
また、その農薬を使った食べ物は心配ですか。

【単一回答】

農薬を使うことを「知っている」と回答した人が93%と、多くの人々が農薬を使っていることを理解しています。また、農薬について、「心配がある」と回答した人は65%と、「心配がない」と回答した人の33%を上回りました。

このことから、農薬を使った食べ物の安全性を考えるときは、「農薬が残っているか、いないか」ではなく、「どのくらいの量が残っているか」が重要であること、また、その量の安全性について、周知すべきであるとわかりました。



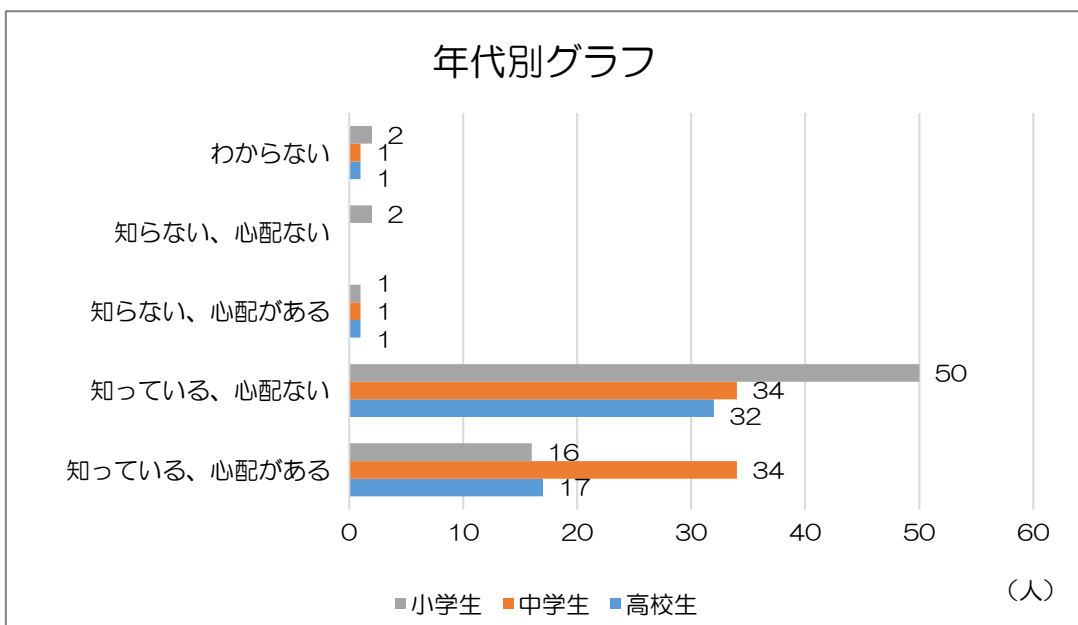
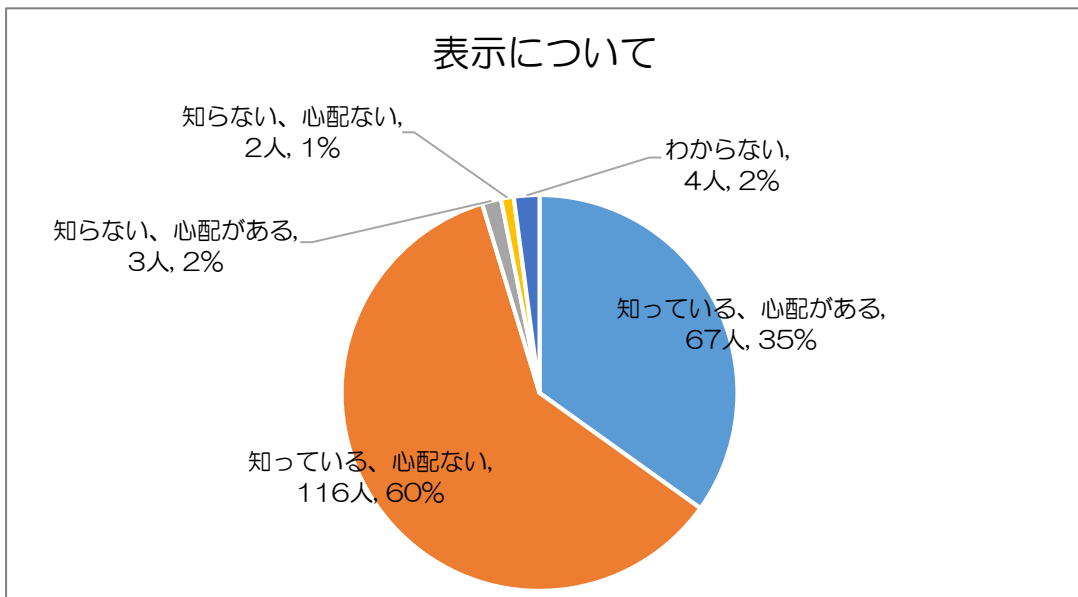
Q6 食べ物の袋（ふくろ）に、消費期限（しょうひきげん）や原産地（げんさんち）などが表示（ひょうじ）されていることを知っていますか。

また、その表示が正しいか心配ですか。

【単一回答】

食べ物の表示を「知っている」と回答した人が95%と、ほとんどの人が食べ物の表示について理解しています。また、食べ物の表示について、「心配ない」と回答した人は61%と、「心配がある」と回答した人の37%を上回りました。

このことから、食べ物の表示について、「心配がない」と回答した人の期待に応えられるよう、県が食品事業者に対して消費期限や原産地等の適正な表示をお願いするとともに、食品事業者が適正な表示をしていることを、周知すべきであるとわかりました。



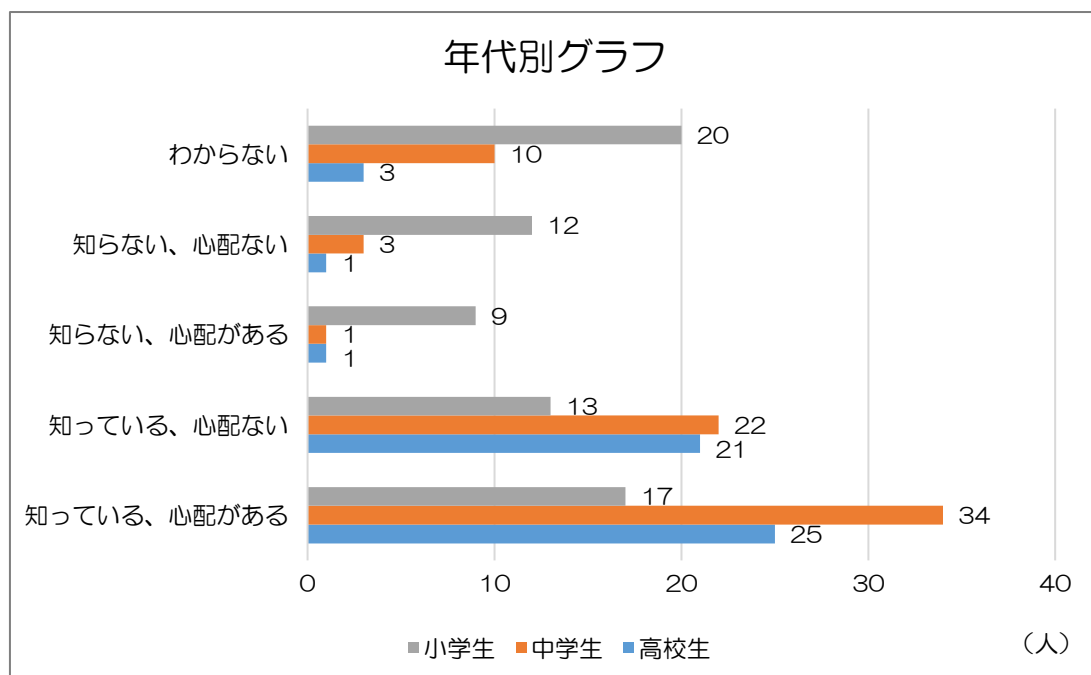
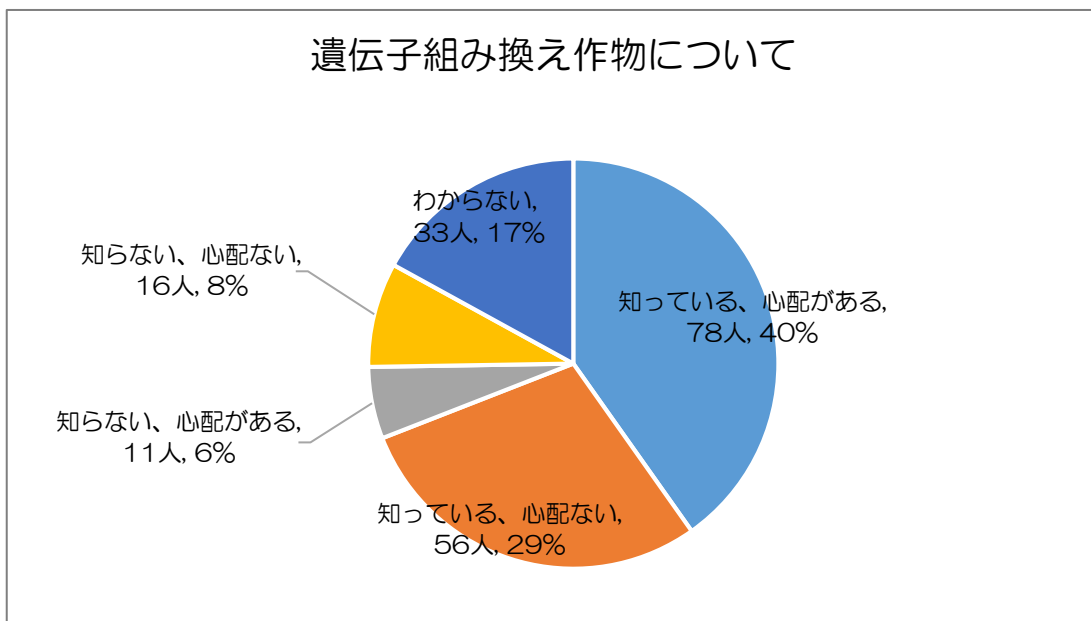
Q7 遺伝子組み換え作物（いでんしくみかえさくもつ）を知っていますか。

また、その遺伝子組み換え作物の食べ物は心配ですか。

【単一回答】

遺伝子組み換え作物を「知っている」と回答した人は69%とやや低く、特に小学生で「知らない」「わからない」の回答が多くなりました。また、遺伝子組み換え作物の食べ物について、「心配がある」と回答した人は46%と、「心配ない」と回答した人の37%を上回りました。

このことから、遺伝子組み換え作物の良い面と、その安全性について、まずは知っていただくことが重要で、これらのことを周知すべきであるとわかりました。

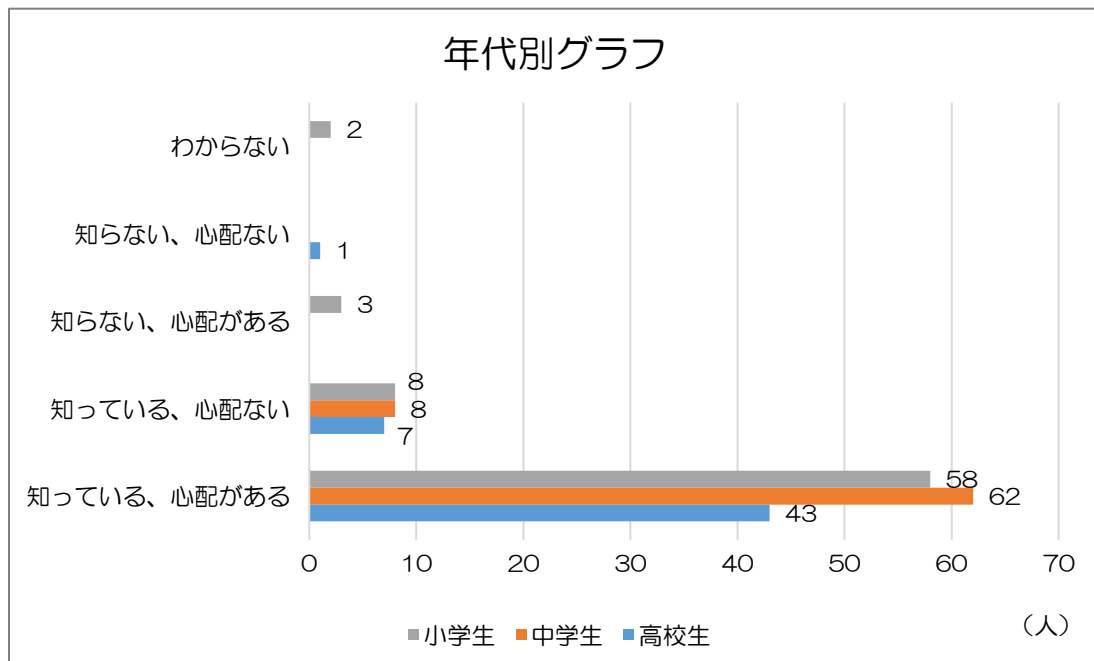
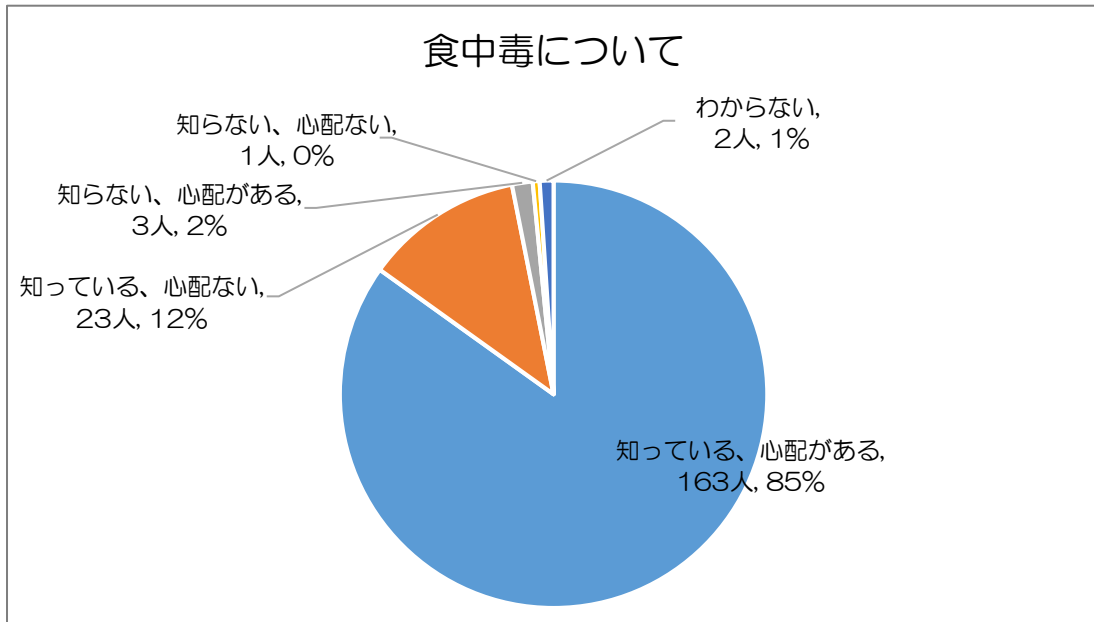


Q8 食べ物についている細菌（さいきん）やウイルスなどによって病気（食中毒（しょくちゅうどく））になることを知っていますか。また、その食中毒は心配ですか。

【単一回答】

病気（食中毒）になることを「知っている」と回答した人が97%と、ほとんどの人が病気（食中毒）になることについて理解しています。また、病気（食中毒）になることについて、「心配がある」と回答した人は87%と、「心配ない」と回答した人の12%を上回りました。

このことから、消費者にも予防対策の知識が必要であり、食中毒予防の3つのルール「①つけない、②増やさない、③加熱する」をしっかりと周知すべきであるとわかりました。

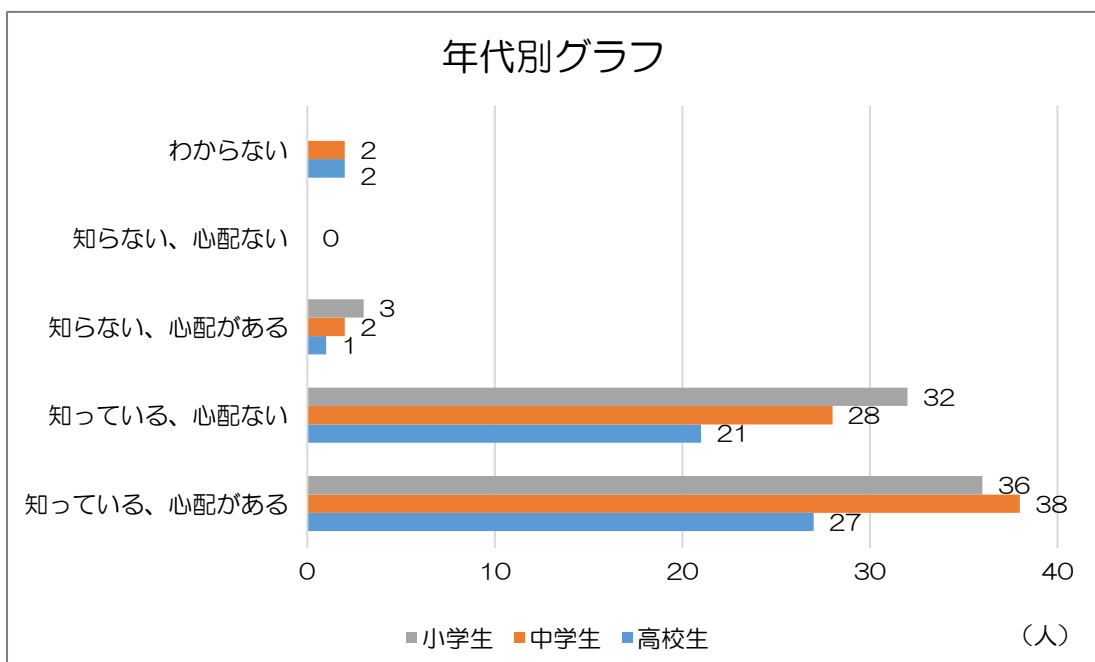
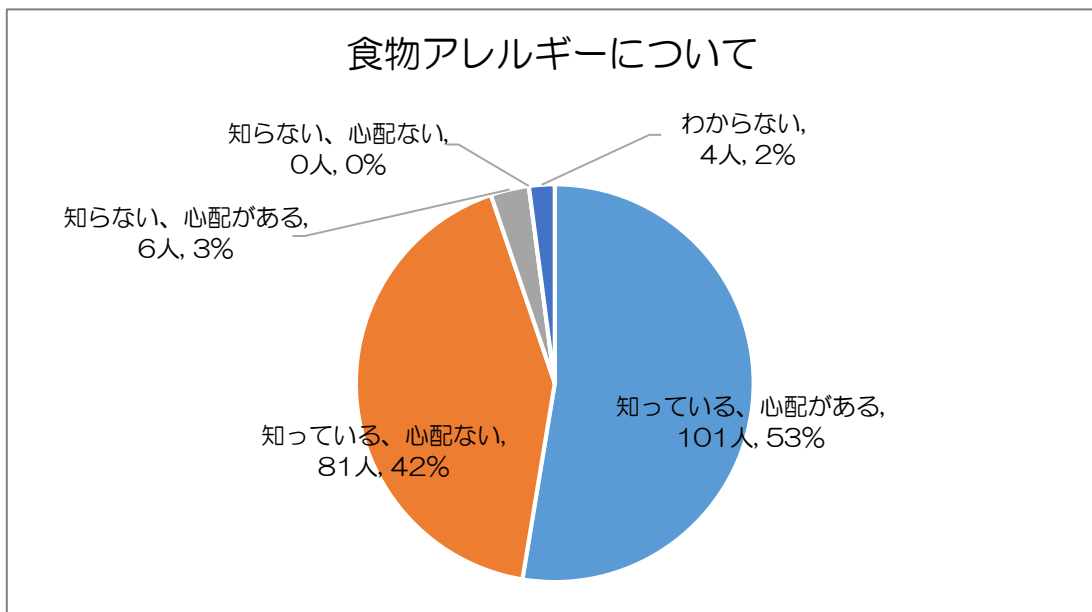


Q9 卵（たまご）やえび、かになどを食べることで、かゆみやじんましんが出る食物アレルギー反応（はんのう）を知っていますか。
また、その食物アレルギーは心配ですか。

【単一回答】

食物アレルギーを「知っている」と回答した人が95%と、ほとんどの人が食物アレルギーについて理解しています。また、食物アレルギーについて、「心配がある」と回答した人は56%、「心配ない」と回答した人は42%と、おおむね半々となりました。

このことから、食物アレルギーをもつ人は、アレルギーを起こす食品を避けなければならないことを正しく理解する必要があり、食品表示によって、どのようなアレルゲンが含まれるか把握できることを、周知すべきであるとわかりました。



Q10 食べ物を安心して食べるために、気をつけていることを教えてください。

例) できるだけ三重県産の食べ物を選んでいる。

アレルギー物質の有無や種類を確認(かくにん)している。

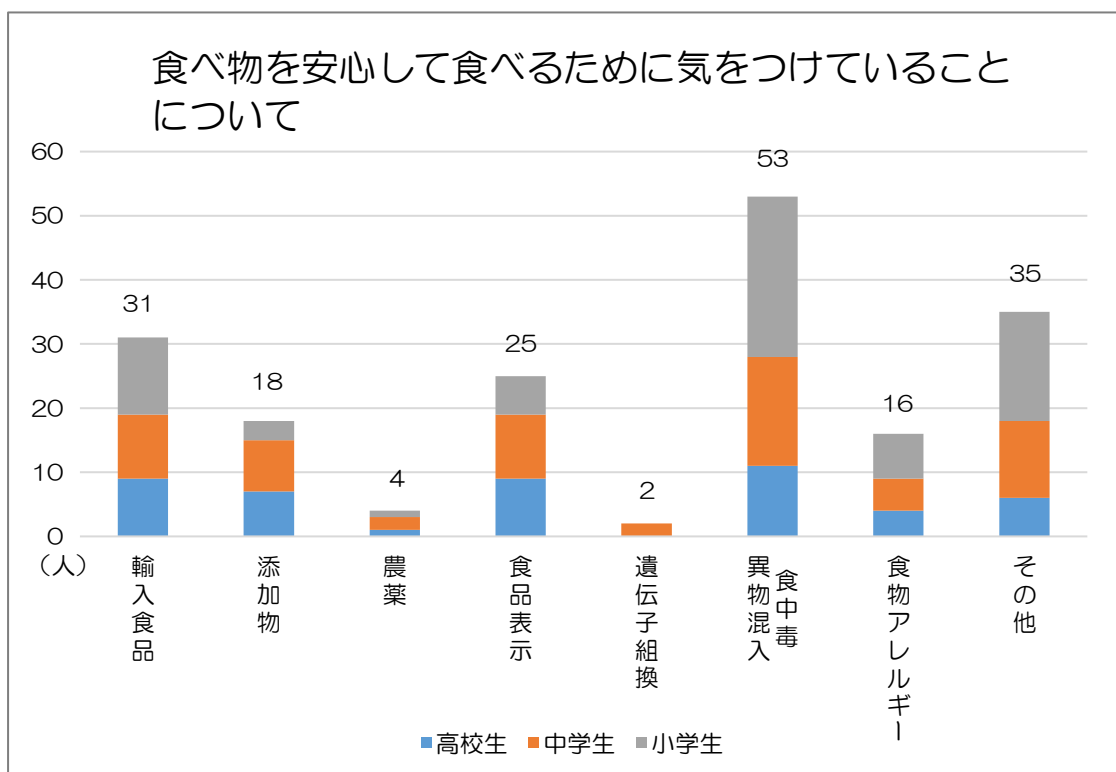
【自由回答】

「食中毒や異物混入に気をつけている」と回答した人が53人と最も多くなりました。また、次に多いのは、「国産かどうか気をつけている」と回答した人が31人、「消費期限や原産地表示に気をつけている」と回答した人が25人でした。一方で、「農薬」(4人)、「遺伝子組み換え」(2人)については、気をつけている人が少ない結果となりました。

このことから、食中毒や異物混入を防ぐための取組や、国産かどうかも含めた原産地の表示、消費期限の表示に関心が高いことがわかりました。

食品事業者によるHACCP(ハサップ、安全な食品をつくるための管理方法)や食品表示の取組の推進と、その取組を消費者へ周知することの重要性がわかりました。

「その他」の意見として、「気にしていない」「特にない」「顔が見られる商品を選ぶ」「地産地消」「お母さんに任せている」など、コメントがありました。



Q11 安全に食べ物を食べるために、どんなことを知りたいですか。

例) 食べ物の原産地。

どんな環境(かんきょう)でつくられているか。

【自由回答】

「食品表示について知りたい」と回答した人が46人と最も多くなりました。次に多いのは、「農薬の使用状況について知りたい」と回答した人が25人、「食中毒や異物混入などを防ぐ生産工程の管理手法について知りたい」と回答した人が21人でした。一方で、「輸入食品」(4人)、「食物アレルギー」(3人)、「遺伝子組み換え」(2人)については、知りたい人が少ない結果となりました。

このことから、安全に食べ物を食べるために必要な情報を知るための手段として、「食品表示」についての関心が最も高く、次いで「農薬の使用状況」についても関心が高いことがわかりました。

食品事業者による食品表示と生産現場での農薬の適正な使用、それぞれの取組の推進とその内容を周知することの重要性がわかりました。

「その他」の意見として、「今のままで十分」「特にない」など、今のままでよいというコメントと、「顔や産地の写真」「食べ物の成分表示」「食べ物の流通」など、さらに食品表示に詳しい内容を求めるコメントがありました。

